

令和2年度 シラバス

愛媛県立津島高等学校

教科	国語	科目	国語総合	単位数	4	学年	1年	類型	普通科
教科書	新編国語総合			副教材	新編国語総合 学習課題ノート				

学期	月	単元名	指導項目、内容	評価の観点					学習のねらい・学習の目標・評価の観点	
				①	②	③	④	⑤	学習のねらい	
1 学期	4	随想1	海流 筆者の思いと話題のつながりを抑えながら読み取る。	○			○	◎	1学期は随想や小説の1を題材に、発想や表現のおもしろさを味わうと共に、人間に対する洞察力を深めます。また、古文・漢文では、音読して古文漢文のリズムを味わい、初歩的な文法や訓読の基本を習得します。 2学期は評論の題材を基に、現代の社会におけるさまざまな問題点について考えていきます。さらに「羅生門」を読み、登場人物の心情の変化を読み取ります。古文では「枕草子」「徒然草」について調べ、作者の物の見方・考え方を学びます。 3学期には、さらに「伊勢物語」や漢文の「故事・史話」を学ぶことで、古人の考え方を学びます。また、評論では筆者の主張を読み取り、自分の考えを述べる取組も行います。	
		古文入門	古文に親しむ 古典の文章を味わい音読する。			◎		○		
		小説1	とんかつ 登場人物の境遇に注意しながら、その心情を読み取る。	○			◎			
	5	漢文入門	訓読の基本 漢文の特色を知り、決まりを理解する。	○				◎		
		故事-三編	格言や故事を読んで、漢文の世界に親しむ。			◎		○		
		小説1	ドライ・クリーニング 登場人物の心情の変化を、表現に即して捉える。					◎		○
	6	古文入門	兎のそら寝 歴史的仮名遣いに注意して、音読する。	○	◎			○		
								◎		○
								◎		○
	7			期末考査	○					○
		絵仏師良秀 説話の面白さを通して、古文の世界に親しむ。				◎			○	
								◎	○	
2 学期	8			○				○	◎	
		評論1	手技に学ぶ 内容を的確に理解し、筆者の考えを読み取り発表する。					◎	○	
								◎	○	
	9	随想	徒然草 動詞の活用に注意しながら文章の内容を読み取る。					○	◎	
			枕草子 作者のものの見方や考え方について考える。	◎					○	
				中間考査	○		○	○	◎	
	10	小説2	羅生門 場面の展開に即して、登場人物の心情などを読み味わう。	◎					○	
									◎	
									◎	
	11	物語	伊勢物語 古人の生き方や考え方を学ぶ。	◎					○	
			古典を自分の言葉で書き換える。	○			◎			
随想2		待つということ 個性的なものの見方に触れ、豊かな感受性を養う。	○					◎		
12			期末考査	○		○	○	◎		
	史話	史記-三編 話の展開に即して、内容を理解する力をつける。						○	◎	
	詩	二十億光年の孤独 他 比喩表現や言葉のリズムのおもしろさを味わう。	○	◎						
3 学期	1	短歌・俳句	その子二十 短歌、俳句それぞれの形式やリズムを理解し、創作活動する。	○				○	◎	
								◎		
	物語	平家物語 登場人物の行動や心情を、表現に即して読み味わう。				◎		○		
	2							◎	○	
		論語	論語-八章 孔子の学問・人間・政治の在り方についての考えをとらえる。				◎		○	
				学年末考査	○		○	○	◎	
	3	評論2	美しさの発見 文章構成や展開を確かめて評論を読む。					◎	○	
							◎	○		

※評価の観点 ①：関心・意欲・態度 ②：話す・聞く能力 ③：書く能力 ④：読む能力 ⑤：知識・理解

◆学習方法のポイント

【国語総合の目標】

- 漢字力をつけよう。
 - ・月に二回全校一斉の漢字テストがあります。毎回100点をとりつもりで頑張りましょう。
 - ・希望者を募り、年4回漢字検定を実施しています。2年までに3級以上合格を目標に挑戦しましょう。
- 読解力をつけよう。
 - ・教科書の文章を、じっくり読み味わいましょう。
 - ・いろいろなジャンルの本を読み、ものの見方・考え方を広げましょう。
- 表現力をつけよう。
 - ・作文やスピーチに取り組むことによって、自分の考えや意見を人に伝えましょう。

【授業】

- 週に4時間の授業があります。
- 1つの単元の授業の流れは、次のようになります。
 - ① 教科書を読みます。
 - ② 出てくる漢字や難語句について、基本問題集を用いて調べ確認します。
 - ③ 本文を読解します。
 - ④ 課題ノートを用いて内容を確認します。
- ノートは、板書に加えて口頭で示された重要ポイントも記し、工夫された「自分のノート」を作りましょう。
- 国語辞典を用意し、わからない語句はその都度調べましょう。
- 古典の学習では、特にすらすらと音読できるよう何度も練習しましょう。

【家庭学習】

- 漢字は毎日欠かさず練習しましょう。
- 本を読んだり新聞に目を通したりして、見聞を広げましょう。

【定期考査】

- 教科書をじっくり読み返し、ノートや問題集・プリント類を見直しましょう。
- 特に漢字は正確に書くことを心掛けましょう。

【その他】

- 将来進路に関わって、小論文が必要になる人も多いと思います。気になった新聞記事を貼ったり、気に入った文章などを書き留めたりするノートを一冊用意すると良いでしょう。

◆評価の方法、規準

評価の方法	定期考査、授業への出席状況および学習意欲、課題提出とその内容、ノートの整理状況を①関心・意欲・態度 ②話す・聞く能力 ③書く能力 ④読む能力 ⑤知識・理解の五つの観点から評価します。ただし、定期考査を重視します。	
評価の規準	1 学期	期末考査(全ての観点から評価しますが主に⑤を重視します。) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③④⑤の観点から評価します。) 課題提出状況等
	2 学期	中間考査、期末考査(全ての観点から評価しますが主に⑤を重視します。) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③④⑤の観点から評価します。) 課題提出状況等
	3 学期	学年末考査(全ての観点から評価しますが主に⑤を重視します。) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③④⑤の観点から評価します。) 課題提出状況等
	学 年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績の平均

